

【事例 H28-05】岩手県

自殺予防民間団体等育成事業

【概要】岩手県では平成 17 年以降、自殺対策に関わるボランティアの育成を開始、県内のボランティア団体数は、平成 28 年度までに 33 団体となっている。

各団体間の連携強化のため、平成 22 年度にボランティア・団体活動ネットワーク「さん・SUN ねっと」を設立し、さらに岩手・秋田・青森の 3 県による「北東北自殺予防民間団体等交流会」へとネットワークを広げている。岩手県精神保健福祉センターでは、さん・SUN ねっとが主体的に活動できるよう支援し、協力しながら自殺対策の推進を行っている。

【実施主体】岩手県精神保健福祉センター

【大綱の分類】9) 民間団体との連携を強化する

【事業予算】280 千円 (H27 年度)

【利 点】

- ▼活動の成果が見えにくいボランティア活動は、活動継続のモチベーションを維持しにくい。そこで、県内で自殺予防活動を行っている民間団体が、研修会や交流会を通じて技術を習得し、また、相互に交流をはかり連携することで、自殺予防の輪を広げていく。
- ▼住民同士がこころの健康増進を図っていくことで、心理的孤立を緩和する地域づくりの実現に寄与する。

【実施に至るまで】

傾聴ボランティア育成

- ①平成 17 年度から「久慈地域傾聴ボランティア養成講座」を岩手県久慈保健所主催で開始。
- ②平成 18 年度からは県内の各保健所・市町村が傾聴ボランティア養成講座を開始、精神保健福祉センターは技術支援を行った。養成講座の受講生は、その後各地域でボランティア団体を立ち上げ、傾聴活動などにあたっている。

ボランティア・団体活動ネットワーク「さん・SUN ねっと」設立

- ①設立：平成 21 年 2 月から 4 団体が連絡会を持ち、情報交換を重ね、平成 22 年 5 月 17 日に、釜石地区において設立の集いを開催。9 団体と個人 1 名が加入。事務局は岩手県精神保健福祉センター内に設置された。
- ②運営体制の調整：平成 24 年から 26 年にかけて、今後の運営体制について話し合いを重ねた。事務局の役割を民間団体へ移行するにあたり、課題を整理し、民間団体が主体となって運営していくことについて、合意形成を行った。

- ・「運営に係る費用負担」→平成 25 年度に岩手県精神保健福祉協会へ助成金の申請を行い、運営に係る機器（パソコン、プリンタなど）を購入。
 - ・「運営に係る経験不足への不安」→運営のノウハウを持つ団体を加入団体に迎える。
- ③事務局移行：平成 26 年 8 月、事務局を NPO 法人いわて生活者サポートセンターに移行。

「さん・SUN ねっと」の具体的な活動内容

▼運営

- ・役員会や総会の開催。なお、平成 26 年に事務局を移行した後も、岩手県精神保健福祉センターがオブザーバー参加し、連携を継続している。
- ・メーリングリストにより会報を発行。

▼研修会・交流会の開催

- ・公益財団法人との共催による民間団体活動交流会や、沿岸地域と内陸地域の団体の交流会などを企画・運営。顔を合わせた意見交換・相互交流を行っている。

▼北東北自殺予防民間団体等交流会

- ・岩手・秋田・青森の民間団体、ボランティア団体の活動報告や意見交換の場として、平成 17 年から 3 県持ち回りで開催。平成 26 年度は、さん・SUN ねっとが中心となって実行委員会を立ち上げ、企画・運営を行った。

【成 果】

- ▼平成 28 年までに自殺対策に関わる県内のボランティア団体数は 13 から 33 に増加。
- ▼さん・SUN ねっと加入団体数は 18 団体に増加し、多種多様な団体が所属するネットワークとして発展。また、事務局移行後は、さん・SUN ねっとが中心となって交流会や研修会を開催するなど、主体的な活動を展開している。

【補 足】

▼平成 27 年には司法関係機関が加入、また、設立当初は沿岸地域の加入団体が主であったが、平成 26 年には県内各地域の団体の加入に至った。

▼顔を合わせて、各団体の活動成果を発表したり、困りごとを共有したりする場を設けることで、ボランティア活動継続のモチベーション向上につながっている。

表 さん・SUN ねっと加入団体一覧 (H28)

地域	団体名
1 盛岡	盛岡ハートネット
2	NPO法人岩手自殺防止センター
3	NPO法人いわて生活者サポートセンター
4	傾聴ボランティアやまびこ会
5	自殺予防活動地域サポーター「みんなの話」
6	岩手町傾聴ボランティアおひさま
7	岩手弁護士会貧困問題対策委員会
8	岩手県司法書士会
9 中部	遠野地域傾聴ボランティアひなたぼっこ
10 気仙	気仙地域傾聴ボランティア「こもれびの会」
11	傾聴ボランティア「こころのもり」
12 釜石	釜石地域傾聴ボランティア「はなみずき」
13	生きがい人生劇団「どっこいしょK」
14	傾聴ボランティア大槌 ひまわり
15	山田町傾聴ボランティア えがお
16 宮古	宮古地域傾聴ボランティア・支え愛
17 久慈	NPO法人サロンたぐきり
18	久慈地域傾聴ボランティアこころ



「H27 被災県における支援の定着と支援者を支えるフォーラム in 盛岡」交流会の様子（主催：ユニバーサル財団、さん・SUN ねっと）

【課 題】

- ・特に加入が少ない地域へ働きかけ、さん・SUNねっと加入団体数のさらなる増加を目指す。
- ・岩手県自殺対策推進協議会のメンバーに参画するなど、民間からの意見を施策に反映していけるよう、さらなる組織の発展を目指す。

※精神保健福祉センターは、これらが実現可能となるよう支援していく。

【事業種別】	組織育成
【準備期間・人数】	24ヶ月・10名
【予防段階】	1次、2次、3次予防
【自治体規模】	人口 127.9万人 財政規模 1兆1,112億円
【自治体負担率】	無（地域自殺対策緊急強化基金を使用）
【事業対象】	県民全体 県内自殺予防ボランティア民間団体
【支援対象】	県民全体 県内自殺予防ボランティア民間団体
【実施主体・問合せ先】	岩手県精神保健福祉センター TEL：019（629）9617

※データは全てH27年度時点のもの

【参考資料・文献】

- (ア)大澤潤子ほか：平成18年度～23年度自殺予防対策事業報告書（岩手県精神保健福祉センター）．156-169, 2012.
- (イ)上田光世ほか：平成23年度～27年度自殺予防対策事業報告書（岩手県精神保健福祉センター）．102-106, 2016.